

# タイピックだより

8月号

2018.7.20 発行

Vol.68



今年7月の豪雨では全国各地で甚大な被害が発生しました。中国地方でも土砂災害や洪水により大きな被害が出ました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地などにおきまして、救援や復興支援などの活動に尽力されている皆様に深く敬意を表しますとともに、皆

様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今年7月の豪雨では全国各地で甚大な被害が発生しました。中国地方でも土砂災害や洪水により大きな被害が出ました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地などにおきまして、救援や復興支援などの活動に尽力されている皆様に深く敬意を表しますとともに、皆

今年7月の豪雨では全国各地で甚大な被害が発生しました。中国地方でも土砂災害や洪水により大きな被害が出ました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地などにおきまして、救援や復興支援などの活動に尽力されている皆様に深く敬意を表しますとともに、皆



なくてはならない水だから  
安心安全な水をいつもそばに



環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。ご利用は、担当営業にお問合せ下さい。

熱中症対策の水分補給に！

## 無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

**Typic 株式会社 タイピック**



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番  
<http://www.typic.jp>

# 社長の

## つぶやき



この度の西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表し、ご遺族の皆様にお悔やみ申し上げますとともに、災害に遭われた方々にお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心から願っております。

災害のたびに思い出すが、当地を襲った昭和58年7月23日に発生した島根県西部地区豪雨災害である。

7月23日の明け方、高津川の濁流の音に目覚め、なにか大変なことになっているのではないかと、当時高津町にあった安野産業(株)商事部に歩いて行ったら先輩から「お前出てくるのが遅い。益田市内が水に浸かっている。いすゞも建鉄工業も安野産業本社もタイピックも水の中だ」(グループ企業と聞き驚愕だった。

市内がどんな状況なのかを高津川を渡り土手の上から眺めると、見渡す限り濁流のなかに家屋が点在していた。雨は降りやんでおり増水はないだろうと思い、腰まで

つかりながら歩いて安野産業本社(当時の勤務先)へむかった。

途中、辻之宮八幡宮の下で、溝にかかった小さな橋があり、この橋は木板が敷いてあったのでおそらく木板は流されていると思い、鉄製の橋桁につかまり渡った後に、誰かが私の渡った橋を渡ろうとして溝に落ち込み姿が見えなくなった。この溝は底が深くそのうえに増水で姿が見えなくなったので大丈夫かと覗きこむようにしていたら、浮き上がってこられたので手を差し伸べ引っ張りあげ「なぜ落ちたの」と聞いたら、あなたが渡ったから後を追って渡ったら落ちたと聞き、どのようにして私が渡ったかの説明をしたのである。

水害の数日後に高校時代の同級生の家を訪問したら、一階部分には家具も畳もない状態で水に流されたのかと聞いたら、水害になると思ったから、近所の戸をたたいて起こして「水害なる」と伝えてから、家にあった家具や畳、すべての物を二階持ち上げたとのことであった。

そして、床下の土泥はそのまま放置してあった。「なぜ土泥を出さないのか」と聞いたところ「乾いたらひび割れができるから、それをかか

えてだした方が簡単に綺麗に出せる」と言われた。友人の母親は過去にも水害に遭っており、その体験をいかされたのである。

水害後、益ぐらいまでは関連会社や関連会社の社員の自宅、友人宅などの清掃作業におわれ仕事をするとしようなことはなかった。

今回の災害後、新聞を見ると毎日災害の記事が掲載されており、涙を流しながら読んでいる。そして、なにもできていない自分。今後、何ができるかを考えていきたい。



昭和58年 水害後のタイピック1階事務所

# わが社の ほっとニュース



## ツバメを巣立ちまで見守り隊

毎年、我が社の屋内駐車場にやって来るツバメ達。今年は、2階の事務所の窓際に巣を作り、毎日、ツバメの成長を間近で見ることが出来ました。巣作りから巣立ちまで、親ツバメが一生涯命ヒナを育てる姿は、感動ものでした。

自然の生き物たちは、命を繋ぐために過酷な環境の中で必死に生きていることを目の当たりにし、私たちは見守ることしかできませんでしたが、また、来年、巣立ったツバメが来てくれることを願っています。



# 社内木鶏会 致知の感想



## 特集 人間の花

○A事業部 システム課 山崎 鈴枝

人間の花はどっぴうう人に咲くのか。人間の花を咲かせるために大事なことは何か。ということ、安岡正篤さんの言葉にある 雑念、妄念を心に茂らせている人に花は咲かない。心の雑念を取り去り、よく手入れし、調和させている人、心の力をよく知る人のみが、人間の花を咲かせる」とあります。

いくつかの仕事が重なり心の余裕がなくなると冷静に自分を省みることもできず、雑念に気持ちのみたされる弱い自分があります。そんな環境にあるうとも、どんな逆境であろうと不平不満を言わず、慢心をせず、いま目の前に与えられた仕事、それが些細な仕事であっても、全身全霊を打ち込んで、真剣に一所懸命努力を…と稲盛さんの言葉に自分の甘さ弱さをあらためて感じました。

利他の心は常に持つて仕事をしていきますが「他に善かれかし」と願う邪心のない美しい思いにこそ、周囲も神様も味方し、成功へと導かれる」と記されてある様に今一度心をみがき人間の花を咲かせる様に凡事徹底、利他の心を高めて仕事をして行きたいと思えます。



## 特集 人間の花

印刷事業部

寺井 政徳

この記事を読んで、安岡正篤師が、人が衰退していく様子を木が衰えていく「木の五衰」の五段階にあてはめて言われている事がわかりやすかった。人も雑念、妄念を心に茂らせている人には花は咲かない。心の雑草を取り去り、よく手入れし、調和させている人の力をよく知る人のみが、人間の花を咲かせるのだらう。稲盛和夫さんもインタビュで答えられている様にどんな環境であろうと、不平不満を言わず、慢心をせず、いま目の前に与えられた仕事を一所懸命に努力し続ける。そして自分だけよければいいという低次元の心ではなく、利他の心、自分がではなく自分以外の誰かの為にという心を常に念頭において生活していかなければいけないんだと改めて痛感しました。

年初めの抱負に「無私利他」と書いた事を今振り返ってみても、その時だけでほとんど実践できていない自分が情けなくなりました。今年もあと半年「無私利他」と「凡事徹底」を毎日自分に言い聞かせながら仕事も私生活も実践していき、それが当たり前に出る様にしていかなければいけないのだと思えます。

利無私  
他私

## 道なき所に道をつくる

印刷事業部

河野 晶

不可能といわれた無農薬・無肥料のりんご栽培を成功させた木村さん。無農薬・無肥料栽培を思い立ったきっかけが奥さんのためだった。農薬を散布すると体に染み込み、火傷みたいに炎症を起こすのを防ぎたくて散布する回数を減らしながら使わない道を選んだ。もちろんすぐに上手くいく事はなく、収穫がなく収入がない時は他の仕事をしながら、周りからは馬鹿と言われても家族の支えがあつて、十年近くの試行錯誤を経て成功したようだ。世間の役に立てる仕事。自分の得ばかり求めない生き方。小さな積み重ねが良い結果を生んだのだと思う。自分はどうだろうか？ 他の人の目を気にしたり、楽な方を選んだり、早く良い結果を求めてすぐに止ってしまう気がした。年齢的にももうあまりゆとりという事にはならないけど、自分の事だけを考えず、周りに喜んでもらえる事を行う事で自分の存在価値を生み、人間の花を咲かせたいと思った。

## 特集 人間の花 ○A事業部 浅野 成耶

何かを継続してすることが大事であることを改めて感じました。続けて何かをするというのはなかなか大変ですが、続けなければ得られないことでもありますし、続けていれば何か得るものは必ずあると思います。自分は毎月コピー機を1台決めるという目標でやっています。が、正直、月末まで

結果がでない時は、悩まされますし、諦めそうにもなります。ですが、そこで諦めてしまうと負けた気がするのでもいつも切羽詰まってなんとか継続販売がギリギリできていた状況です。そんな中でも継続してやり続けることにより、自信につながり、ちょっとした達成感もあるので、これはこだわっていききたいなと思えました。まだまだ、人生でいうと種まきの最中ですが、いつか花咲くことを信じてコツコツと頑張っていきたいなと思えます。

## 特集 人間の花 ○A事業部 寺戸 雄次

稲盛さんの言葉の中で利他の心という言葉がありました。この言葉はタイピックに入ってからよく耳にしている言葉だなと感じました。この言葉を聞くとすぐに実践しないといけないなど毎回思うのですが、あまりできていないのが現実だなと感じました。また、意識してするのはなく、当たり前のようにできていかなければいけないとも感じました。忙しかったり自分に余裕がないと周りに気を配れていないと思うことが多いので、どんな時でも他人への接し方が変わらないうように気をつけていきたいなと思えました。仕事も私生活も周りの方々に助けてもらってできているので、同じように関わる方の助けになるような行動・言動に気をつけてクセづけていきたいです。こういった木鶏等の機会を生かして人間として成長しなくてはと改めて思いました。

# ゆっくりやさしいパソコン教室

心癒された山陽の旅

益田教室 清水 壮一

毎年恒例のパソコン教室のバス遠足。今年は、防府から山陽小野田にかけて楽しんできました。天候は、それまで雨が続き、前日は特に大雨になったのでとても心配しましたが、当日、太陽まで顔を出してくれる好天に恵まれました。

パソコン教室のバス遠足が他のツアーと違うところは、車中もスタッフが趣向を凝らしたゲームやレクリエーションで盛り上げてみなさんを寝かせないことです。楽しい雰囲気の中いつもは受講の時間が違うために出会わない生徒さんが、パソコン教室の同じ仲間同士、すぐに打ち解けあって楽しい時間を過ごすことができます。



最初の目的地、防府の「毛利氏庭園」は、担当の職員の方に毛利邸の中を案内していただきました。とてもわかりやすく説明して下さい、日本でも屈指

の邸宅のすごさを知ることができ、充実した時間を過ごせました。

昼食は、小郡の長沢池のほとりにたずむ昭和の雰囲気満載のドライブイン「長沢ガーデン」です。昼食のお供にビールを飲みながらここでのお土産も買って楽しく休憩しました。

最後に訪れたのは、総合システム農場「花の海」です。ここは船方牧場とも姉妹提携している観光農園で、大規模な野菜や花の苗の育成から収穫、そして、収穫した野菜を使ったパンやピザ、スイーツなどをカフェでいただくこともでき、山口県では有名なように、小さな子どもを連れた家族も多くとてもにぎわっていました。

私たちはここでブルーベリー狩りを楽しみました。みなさん夢中でブルーベリーを摘んではほおぼっていました。その他、花好きの方は珍しい花の苗を買い込んだり、カフェでお茶をしたりとみなさんそれぞれ楽しんでいました。



## 毛利氏庭園にて



この日を楽しみに待って、参加者に気兼ねなく無邪気に楽しめるのがこのバス遠足の魅力です。ご家族やお知り合いで、毎日の生活をもっと楽しくさせてあげたい方がいらっしやいましたら、ぜひゆっくりやさしいパソコン教室をお勧めください。パソコンは脳トレのつもりで取り組んでいただければ気楽にできます。老化防止に重要な「人のかかわり」「楽しいおしゃべり」の場がここにはあります。ほとんどの生徒さんが、教室で過ごす時間を楽しみにもう何年も通われており、みなさんイキイキされていますよ。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします

シニア・初心者のためのパソコン教室です

- 益田教室 島根県益田市常盤町7-3 株式会社タイピック1F
- 浜田教室 島根県浜田市相生町1391-8 シティバルク3F
- 廿日市教室 広島県廿日市市木村港南3-14 安野産業株式会社2F
- 萩教室 山口県萩市土原川445 萩ショッピングタウンG棟
- 宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山32-2 石田ビル1F